

適用規格						
定 格	周波数範囲	DC ~ 18.0 GHz	保存温度範囲	-40 °C ~ +85 °C		
	電 力	0.25 W (at 65°C)	特性インピーダンス	50 Ω		
	使用温度範囲	-40 °C ~ +85 °C	適合ケーブル	—————		
	使用湿度範囲	~ 95 %	使用コネクタ	HRM-P (SMA-P)		
性 能						
項 目	試 験 方 法		規 格		QT	AT
構造	外観, 構造, 仕上げ		目視, 寸法測定器にて測定する。		○	○
	表示		目視にて確認する。			
電 氣 的 性 能	V. S. W. R.	周波数 DC ~ 4.0 GHzにて測定する。	1.08 以下		○	○
		周波数 4.0 ~ 8.0 GHzにて測定する。	1.10 以下			
		周波数 8.0 ~ 12.4 GHzにて測定する。	1.12 以下			
		周波数 12.4 ~ 18.0 GHzにて測定する。	1.15 以下			
	挿入損失	周波数 ~ Hzにて測定する。	dB以下		-	-
	逆方向損失	周波数 ~ Hzにて測定する。	dB以上		-	-
	結合度	周波数 ~ Hzにて測定する。	dB		-	-
	結合度周波数偏差	周波数 ~ Hzにて測定する。	dB以下		-	-
	方向性	周波数 ~ Hzにて測定する。	dB以上		-	-
	減衰量	周波数 ~ Hzにて測定する。	dB以内		-	-
	直流抵抗値	DC 1 V以下で測定する。		50Ω±4 %以内		○
接触抵抗	mA (DC OR 1000 Hz)以下で測定する。		mΩ以下		-	-
絶縁抵抗	DC Vで測定する。		MΩ以上		-	-
耐電圧	AC Vの電圧を1分間印加する。		せん絡・絶縁破壊がないこと。		-	-
機 械 的 性 能	繰り返し動作		回の抜き差しを行う。		-	-
	耐振性	周波数 10~2000Hz, 片振幅 0.75mm, 加速度 98m/s <sup>2</sup> で 3 軸方向各 4時間試験する。(MIL-STD-202E, METHOD204C)	① 電気的特性を満足すること。 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		○	-
	耐衝撃性	加速度 490m/s <sup>2</sup> , 正弦半波で 3軸両方向各 3回試験する。	① 電気的特性を満足すること。 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		○	-
	ケーブルクランプ部の引っ張り強度	N以下の引張力をケーブル軸に加える。		① ケーブルの抜けや断線等のないこと。 ② クランプ部の破損がないこと。		-
環 境 的 性 能	温湿度サイクルの耐湿性	温度 ~ °C, 湿度 ~ %中にサイクル( 時間) 放置する。	① 絶縁抵抗: MΩ以上(高湿時) ② 絶縁抵抗: MΩ以上(乾燥時) ③ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		-	-
	温度サイクル	温度 -55 → 15~35 → 85 → 15~35 °C 時間 30 → 2~3 → 30 → 2~3 分 を 5サイクル試験する。	① 電気的特性を満足すること。 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		○	-
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	はなはだしい腐食がないこと。		○	-
	温度上昇	DCにおいて定格電力を印加し規格値以下のこと。	40°C以下		○	-
質量	規格値以下のこと。		3g以下のこと。		○	-
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日	
	1	DIS-D-00000579	YI. FUNADA	TO. KATAYAMA	15. 10. 09	
備考	(1) RoHS適合品			承認	KJ. KAWAMURA	08. 03. 24
	(2) 鉛フリーはんだ (Sn3. 0Ag0. 5Cu) を使用。			検図	RZ. KANO	08. 03. 24
	△			担当	TK. SAWAGUCHI	08. 03. 24
	試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(対応規格JIS C 5402)を適用している。			製図	TK. SAWAGUCHI	08. 03. 24
注	QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目	図番	SLC4-030012-08			
HRS	製品規格表		製品名	HRM-601A (50)		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL353-0017-3-50	△	1/1